

非拡張型左室心筋症の多様性解明と Deep Phenotyping による リスク層別化・個別化治療基盤の構築に対するご協力のお願い

研究代表者 家田 真樹
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 循環器内科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

非拡張型左室心筋症と診断された 20 歳以上の患者様

2 研究課題名

承認番号 20251222

研究課題名 非拡張型左室心筋症の多様性解明と Deep Phenotyping によるリスク層別化・
個別化治療基盤の構築

3 研究組織

研究機関	診療科	研究責任者（役職）
慶應義塾大学病院	循環器内科	家田 真樹（教授）
杏林大学医学部付属病院	循環器内科	河野 隆志（教授）
防衛医科大学校病院	循環器内科	長友 祐司（准教授）
埼玉医科大学国際医療センター	心臓内科	荒井 隆秀（教授）
国立病院機構 埼玉病院	循環器内科	小野 智彦（部長）
さいたま市立病院	循環器内科	武井 眞（部長）
国立病院機構 東京医療センター	循環器内科	稲川 浩平（科長）
東京都済生会中央病院	循環器内科	高橋 寿由樹（部長）
国家公務員共済組合連合会立川病院	循環器内科	影山 智己（部長）
日野市立病院	循環器内科	中村 岩男（部長）
川崎市立川崎病院	循環器内科	末吉 浩一郎（部長）
横浜市立市民病院	循環器内科	小浦 貴裕（部長）
神奈川県警友会けいゆう病院	循環器内科	菅野 康夫（部長）

済生会宇都宮病院	循環器内科	下地 顕一郎（部長）
東京歯科大学市川総合病院	循環器内科	眞野 恵範（准教授）

4 本研究の目的、方法

本研究の目的は、非拡張型左室心筋症の自然歴や病態多様性、リスク構造を臨床情報・画像検査・遺伝学的検査などを多層的に統合・包括的に解明し、この新規表現型カテゴリーとしての妥当性と内部構造を科学的に検証した上で、リスク層別化および個別化治療戦略を構築することにあります。

本研究は多施設共同観察研究です。本研究では、治療、予防、その他健康に影響を与えると考えられる要因に関する介入は一切行いません。日常診療で行われている検査および治療（薬物療法、デバイス治療、その他の侵襲的手技）や、心臓リハビリテーションなどの診療内容に関する情報を収集します。

5 協力をお願いする内容

本研究では、通常の診療の中で得られる診療情報および検査結果を研究目的で利用します。具体的には、年齢や性別、既往歴などの患者背景、診断名や入院・外来での経過、血液・尿検査、心電図・超音波・MRI などの画像検査、治療内容、ならびに心不全や不整脈、血栓塞栓症など臨床転帰に関する情報を診療録から抽出して解析を行います。

6 本研究の実施期間

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2033 年 3 月 31 日

研究対象期間： 2000 年 1 月 1 日 ～ 2033 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

一部の対象者の方においては、保存された血液や尿などの検体は、本研究終了後も慶應義塾大学循環器内科のバイオバンクとして位置づけられ、将来、国内外の共同研究へ活用される可能性があります。ただし、その際には、研究目的や解析内容ごとに新たに慶應義塾大学医学部倫理審査委員会での審査・承認を受けたうえで、適切な手続きを経て使用します。共同研究を行う場合にも、個人情報保護法に準拠し、完全匿名化したデータのみを使用し、個人が特定されることのないよう最大限の配慮を行います。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部循環器内科 白石 泰之
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
TEL : 03-5843-6702 FAX : 03-5363-3875

以上